

# 学校だより



令和4年2月1日  
尼崎市立園田小学校  
校長 永所 孝章

## 🐱🐱🐱 2月3日は節分! 🐱🐱🐱

「鬼は外、福は内」と声を出しながら煎り大豆を撒いて、年齢の数だけ豆を食べる風習が日本にはあります。これは、地方によって少しずつ異なっていますが・・・。

節分の日の給食には、鬼のイラストが描かれた袋に入った大豆がです。担任をしていた時、クラスの子どもたちに「自分の心の中の弱い鬼を退治しましょう。」と言って、心の中で念じながら豆を一粒だけ窓の外に投げていいことにしていました。「宿題をわすれる鬼」「時間を守れない鬼」等、様々でしたが、子どもたちは自分の生活を振り返りながら、中には祈るようにそっと投げる子もいました。

今年は、窮屈な生活を強いられている子どもたちが思いっきり学校生活を送れるように、「2年間居続けているコロナの鬼がいなくなるように」、私が学校を代表して、豆を一粒そっと校長室の窓から外に投げようと思います。

この前新年を迎えたばかりなのにもう節分。「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る。」とはよく言いますが、今年度6年生が学校に登校する日は「あと32日」、在校生は「あと36日」。月日があっという間に過ぎていくのを実感しています。

子どもたちそれぞれがしっかりとまとめをしながら、今のクラスの友だちとの残りの日々を楽しんでくれたらと思います。

「がんばれ!園っ子!」ご家庭においても引き続き声掛けの方よろしくお願ひいたします。

## HAPPY 応援 NET (地域学校協働本部) コーディネーター



本校では、【HAPPY 応援 NET】の皆様にも、いろいろと助けていただいています。子どもたちの健やかな成長を見守り、学校の応援団として、その働きかけを地域の方にいただいているのが「和田笑さん」です。以前は本校のPTA会長も務められた方です。だから本校にとっては欠かすことのできない存在です。

今年度もコロナ禍の中で、学校が困っていることを相談し、地域の人材をコーディネートしてくれました。

いつも、自身のお仕事がありながら、学校や子どもたち・地域のことを気にかけてくれます。

学校は今、新たに組みなければならないこ

- 1年生の下校引率のお手伝い (4月の給食がない時)
- 水泳指導時の補助の人材の確保 (行事中止)
- 体育大会時の自転車整理の人材確保 (行事中止)
- 5年生のキャリア教育でのお手伝い
- 図書室の整備等

など

と等が増え、大変難しい時期です。そんな時にいつも応援をしてくれる温かい人です。本当にいつもありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

## 2月24日、25日の参観・懇談について

2月24日(高学年)、25日(低学年・すぎの子)に参観・懇談を予定しております。今年度最後の参観・懇談となりますのでお忙しいとは思いますが、参加をお待ちしております。

なお、情勢によっては変更になる可能性がありますのでご了承ください。

## 感染対策について

兵庫県にまん延防止等重点措置が出されたことを受け、同居家族に発熱等の症状がある場合(ワクチン接種後を含む)や濃厚接触の疑いに伴うPCR検査を受けている場合は、登校を控えていただくようお願いいたします(出席停止の扱いとなります)。

## 朝の登校時間について

8時25分が登校確認の時間となります。早すぎる登校は、教職員による見守り体制・安全確保が整っておりませんので、8時~8時15分ごろを目安に登校できるよう、ご家庭においてもお声かけをお願いします(早くても7時50分以降の登校にしてください)。

## 2月の行事予定

日	曜	行	事	予	定
1	火	朝会、諸費振替日、15:00下校	16	水	児童会役員選挙
3	木	放課後学習	17	木	放課後学習
7	月	委員会	21	月	クラブ(3年生見学)
8	火	集会	22	火	朝会
9	水	職員会議のため15:00下校	24	木	参観・懇談(高学年)
10	木	放課後学習	25	金	参観・懇談(低学年・すぎの子)
15	火	諸費振替日 音読朝会、入学説明会(15:00~)	28	月	クラブ(3年生見学予備日)

## 《3月の主な予定》

3/1・6年生を送る会、3/16・給食最終日(この日まであります)

3/18・卒業式、3/25・修了式

※行事予定につきましては、状況によって変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

毎日、算数の授業をしていて思うことがある。子どもたちは丁寧に教えられるほど「自分で学べなくなる」あるいは「学ぶ意欲が減退する」という不能化が起きるのではないかと。すべての子どもに「わかった!」「できた!」と言ってもらいたいので精一杯丁寧に教えてきたが、手厚い微不至に入り細にわたる授業は意外にも学力の向上には寄与しないのではないかと。社会生活が効率よく便利になればなるほど体力は落ちる(にきまってる)。効率の良い手厚いサービスは人間の劣化を生み出す。「良いことをやっているんだから良くなるはずだ」といった惰性的な思考から脱していかなばと考える耳順の冬である。 研究主任 佐藤隆史